

関連専門業務 ②国際連携支援業務

初級

業績指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

担当者として対応した。

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で実行した実績／経験を有する(結果への寄与度 10%以上)。

- 1. 所属大学・研究者の専門分野・研究シーズにつき、マッピングを行い、論文情報のリストアップ等データベース化を行った。
- 2. 所属大学・研究者の研究シーズを大手海外企業本社や日本事務所に情報提供した。
- 3. 海外の研究助成制度について情報を収集し、適宜学内研究者へ情報提供を行った。
- 4. 海外の研究助成制度について、申請を支援して、研究費獲得に至った。
- 5. 大学本部の担当部署(国際本部等)と連携のもと、海外の大学との学術協定締結に向けた支援を行った。
- 6. 海外からの研究者受入及びその家族も含めた生活環境整備(住居、子弟教育等)について、学内調整を行った。
- 7. 海外からの招聘者につき、受入調整を行った。

③重要性

④学内外貢献

以下のいずれかに相当する実績／経験を有する。

- 1. 関係者からの質問に対して適切な回答／助言を行った。
- 2. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。

⑤その他

業務遂行能力指標

以下の条件の能力を有する。

①事業

所属大学における自己の業務の位置づけを理解している。

②知識

- 1. 当該プロジェクト(または研究拠点)の制度及び政策的位置づけを理解している。
- 2. 輸出管理に関わる基礎的な知識、遵守する事項(例:外国為替及び外国貿易法)を理解している。
- 3. 研究成果に係る取り扱い事項(材料提供、秘密保持、知財保護、個人情報保護(匿名化)等)を理解している。
- 4. 海外における前記2.、3.に関する基本的な事項を理解している。
- 5. 学外(海外も含む)研究者を受け入れる際のスキーム、規定、契約事項等を理解している。
- 6. 世界的な研究メガトレンド及び政策動向の初歩的な事項を理解している。
- 7. 所属大学の教務規定、学生受入に関する学内規定、事務手続きの流れ等を理解している。

③実務

- 1. 国際的な連携支援業務に関する実務(例:海外関係機関との共同研究に関する調整等)の初歩的な事項(例:実務全体の20~30%程度)を理解している。
- 2. 前記1.に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決することができる。
- 3. 外部の機関(特に海外)との交渉、調整等の作業の進め方等を理解している。
- 4. 上司の指導の下で必要な資料作成ができる。
- 5. 海外の研究助成制度について情報を集め、研究者に説明できる。
- 6. 研究者、あるいは研究コミュニティとトラブルがあった場合、上級・中級 URA や関係者に報告・相談し、適切な対処ができる。

④語学

- 1. 国際業務に関しては、国際担当部署等の協力を得て、業務の推進に必要な英文内容を理解でき、相手先に伝えるべき情報等を作成することができる。
- 2. 海外の担当者、研究者等と上司の指導の下で交渉ができる。

⑤対人

- 1. 関係者(例:学内関係者、FA、企業、海外機関、関係省庁等)から円滑に情報収集ができる。
- 2. 関係者の説明(例:規則、実施計画等)を理解することができる。
- 3. 関係者の信頼を得て、連携し、協働できる。
- 4. 相手先(海外を含む)機関の文化や慣習等を理解し、対応することができる。
- 5. 関係者との間で円滑なコミュニケーションをとることができる。

⑥その他

- 複数の業務に適切な優先順位をつけ、限られた時間を有効に活用し業務を遂行できる。

関連専門業務 ②国際連携支援業務

中級

業績指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

主担当として対応した。

②複雑性

以下のいくつかを自律的に、複数回実行した実績／経験を有する(結果への寄与度 30%以上)。

- 1. 所属大学・研究者の専門分野・研究シーズにつき、マッピングを行い、論文情報のリストアップ等データベース化を行った。
- 2. 海外企業のニーズ情報や問い合わせに対応し、関連する組織・研究者との情報交換の場をアレンジし、その後の共同研究へとつながった。
- 3. 所属大学・研究者の研究シーズを大手海外企業本社や日本事務所に情報提供した。
- 4. 海外企業との共同研究契約に際し、研究計画、研究費、知財を含む秘密情報の取り扱い等について、研究者及び学内担当部署との調整を行い、契約締結に向けた支援を行った。
- 5. 海外企業との共同研究において、プレスリリースや契約更新手続き等について、研究者及び学内担当部署との調整を行った。
- 6. 海外の研究助成制度について情報を収集し、適宜学内研究者へ情報提供を行った。
- 7. 海外の研究助成制度について、申請を支援して、研究費獲得に至った。
- 8. 海外の大学との国際交流事業の企画・立案のため、国内外の大学から研究者を招集してワークショップを複数回開催し、学内のキーマンとなる研究者と連携して、交流プロジェクトの素案作りを行い、他大学からプロジェクト参画へのコミットメントを得ることができた。
- 9. 海外の大学との国際交流事業へ応募すべく、大学本部の担当部署(国際本部等)と連携して調整を進め、学内承認を得ることができた。
- 10. 交流プログラムにおける学生及び研究者の相互派遣のため、単位互換、派遣／受入等、大学本部の担当部署(国際本部等)と連携して調整を進め、準備を整えることができた。
- 11. 大学本部の担当部署(国際本部等)と連携のもと、海外の大学との学術協定締結に向けた支援を行った。
- 12. 海外からの研究者受入及びその家族も含めた生活環境整備(住居、子弟教育等)について、学内調整を行った。
- 13. 海外からの招聘者につき、受入調整を行った。
- 14. 世界的にレベルの高い研究体制を作るために、学内規定の策定及び改定等のための交渉を行い、研究者の派遣／受入がスムーズに行えるようになった。
- 15. 研究アクティビティーの活性化のために、海外数か所にサテライトラボを設置し、当該ラボでの研究者の雇用等を可能にした。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

- 1. 外部との折衝活動の結果、関係者間の合意形成、対応方針の共有が円滑に進み、調整業務が短縮された。
- 2. 海外の企業や大学との連携による国際コンソーシアムが設立され、研究活動や人材育成において、交流が活発となった。
- 3. 世界的にレベルの高い研究環境が評価され、海外からの研究者の応募が急増した。

④学内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

- 1. 学内規定の策定・改定につき、学内幹部(学長、理事クラス)への提言を行った。
- 2. 関係者からの質問に対して適切な回答／助言を行った。
- 3. 後輩(例:初級レベル)に対して国際連携業務に関する助言とOJTを行った。

⑤その他

業務遂行能力指標

以下の条件の能力を有する。

①事業

- 1. 所属大学における自己の業務の位置づけを理解しており、関係者に説明できる。
- 2. 担当業務に関連する主要なプロジェクトの方針(ポリシー)を理解している。

②知識

- 1. 当該プロジェクト(または研究拠点)の制度及び政策的位置づけを理解している。
- 2. 特定分野の専門知識を有し、関連研究分野に関わる科学技術の概要を理解している。又は、調査し、把握することができる。
- 3. 特許出願に関する基礎知識、学内の出願に関する規則を理解している。
- 4. 輸出管理に関わる基礎的な知識、遵守する事項(例:外国為替及び外国貿易法)を理解している。
- 5. 研究の適正な実施に関する諸規定等(コンプライアンス、科学者・生命倫理、安全衛生、利益相反等)を理解している。
- 6. 研究成果に係る取り扱い事項(材料提供、秘密保持、知財保護、個人情報保護(匿名化)等)を理解している。
- 7. 海外における前記3.～6.に関する基本的な事項を理解している。
- 8. 学外(海外も含む)研究者を受け入れる際のスキーム、規定、契約事項等を理解している。
- 9. 世界的な研究メガトレンド及び政策動向を理解している。
- 10. 所属大学の教務規定、学生受入に関する学内規定、事務手続きの流れ等を理解している。

③実務

- 1. 国際的な連携支援業務に関する実務(例:海外関係機関との共同研究に関する調整等)の専門的事項(例:実務全体の60～70%程度)を理解している。
- 2. 前記1.に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。
- 3. 外部の機関(特に海外)との交渉、調整等の作業の進め方等を理解している。
- 4. 外部の関係者ごとに必要な情報を抽出・整理して資料作成や説明を行うことができ、会議や打合せを効率良く進めることができる。
- 5. 海外の研究助成制度について情報を集め、研究者に説明できる。
- 6. 担当省庁と連携の上、内外関係者と調整しながらプロジェクト(または研究拠点)のシステム整備を進めることができる。
- 7. 全体のスケジュールと進捗状況を把握して内外関係者と共有し、期日内に業務を終わらせられるよう、内外関係者の協力を得ることができる。
- 8. 研究者、あるいは研究コミュニティとトラブルがあった場合、上級URAや関係者に報告・相談し、適切な対応ができる。

④語学

- 1. 国際業務に関しては、国際担当部署等の協力を得て、業務の推進に必要な英文内容を理解でき、相手先に伝えるべき情報等を作成することができる。
- 2. 海外の担当者、研究者等と直接交渉ができる。

⑤対人

- 1. 関係者(例:学内関係者、FA、企業、海外機関、関係省庁等)から円滑に情報収集ができる。
- 2. 関係者の説明(例:規則、実施計画等)を理解することができる。
- 3. 関係者の信頼を得て、連携し、協働できる。
- 4. 相手先(海外を含む)機関の文化や慣習等を理解し、対応することができる。
- 5. 関係者との間で円滑なコミュニケーションをとることができる。

⑥その他

- 複数の業務に適切な優先順位をつけ、限られた時間を有効に活用し業務を遂行できる。

関連専門業務 ②国際連携支援業務

上級

業績指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

統括責任者として対応した。

②複雑性

以下のいくつかの国際連携支援業務に関する課題について、多角的な視点で様々な解決策の提案を複数回実行した実績／経験を有する(結果への寄与度 50%以上)。

- 1. 所属大学・研究者の専門分野・研究シーズにつき、マッピングを行い、論文情報のリストアップ等データベース化を行った。
- 2. 海外企業のニーズ情報や問合わせに対応し、関連する組織・研究者との情報交換の場をアレンジし、その後の共同研究へとつながった。
- 3. 所属大学・研究者の研究シーズを大手海外企業本社や日本事務所に情報提供した。
- 4. 海外企業との共同研究契約に際し、研究計画、研究費、知財を含む秘密情報の取り扱い等について、研究者及び学内担当部署との調整を行い、契約締結に向けた支援を行った。
- 5. 海外企業との共同研究において、プレスリリースや契約更新手続き等について、研究者及び学内担当部署との調整を行った。
- 6. 海外の研究助成制度について情報を収集し、適宜学内研究者へ情報提供を行った。
- 7. 海外の研究助成制度について、申請を支援して、研究費獲得に至った。
- 8. 海外の大学との国際交流事業の企画・立案のため、国内外の大学から研究者を招集してワークショップを複数回開催し、学内のキーマンとなる研究者と連携して、交流プロジェクトの素案作りを行い、他大学からプロジェクト参画へのコミットメントを得ることができた。
- 9. 海外の大学との国際交流事業へ応募すべく、大学本部の担当部署(国際本部等)と連携して調整を進め、学内承認を得ることができた。
- 10. 交流プログラムにおける学生及び研究者の相互派遣のため、単位互換、派遣／受入等、大学本部の担当部署(国際本部等)と連携して調整を進め、準備を整えることができた。
- 11. 大学本部の担当部署(国際本部等)と連携のもと、海外の大学との学術協定締結に向けた支援を行った。
- 12. 海外からの研究者受入及びその家族も含めた生活環境整備(住居、子弟教育等)について、学内調整を行った。
- 13. 海外からの招聘者につき、受入調整を行った。
- 14. 世界的にレベルの高い研究体制を作るために、学内規定の策定及び改定等のための交渉を行い、研究者の派遣／受入がスムーズに行えるようになった。
- 15. 研究アクティビティーの活性化のために、海外数か所にサテライトラボを設置し、当該ラボでの研究者の雇用等を可能にした。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

- 1. 外部との折衝活動の結果、関係者間の合意形成、対応方針の共有が円滑に進み、調整業務が短縮された。
- 2. 海外の企業や大学との連携による国際コンソーシアムが設立され、研究活動や人材育成において、交流が活発となった。
- 3. 世界的にレベルの高い研究環境が評価され、海外からの研究者の応募が急増した。
- 4. 国際連携企画の最初の段階から参加を要請されることが多くなった。

④学内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

- 1. 学内規定の策定・改定につき、学内幹部(学長、理事クラス)への提言を行った。
- 2. 執行部を含む関係者からの質問に対して適切な回答／助言を行うことにより、国際連携を効率的に進めることができるようになった。

□3. 後輩(例:レベル初級・中級)に対する育成指導/助言を行った。

⑤その他

業務遂行能力指標

以下の条件の能力を有する。

①事業

- 1. 所属大学における自己の業務の位置づけを理解しており、関係者に説明できる。
- 2. 担当業務に関連する主要なプロジェクトの方針(ポリシー)を理解している。
- 3. 担当業務に関する課題を発見し、あるいは課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

②知識

- 1. 当該プロジェクト(または研究拠点)の制度及び政策的位置づけを十分に理解している。
- 2. 特定分野の専門知識を有し、関連研究分野に関わる科学技術を十分に理解している。又は、調査し、把握することができる。そして、関係者に説明することができる。
- 3. 特許出願に関する基礎知識、学内の出願に関する規則を理解している。
- 4. 輸出管理に関わる基本的な知識、遵守する事項(例:外国為替及び外国貿易法)を理解している。
- 5. 研究の適正な実施に関する諸規定等(コンプライアンス、科学者・生命倫理、安全衛生、利益相反等)を理解している。
- 6. 研究成果に係る取り扱い事項(材料提供、秘密保持、知財保護、個人情報保護(匿名化)等)を理解している。
- 7. 海外における前記3.～6.に関する重要な事項を理解し、研究者に提示することができる。
- 8. 学外(海外も含む)研究者を受け入れる際のスキーム、規定、契約事項等を理解している。
- 9. 世界的な研究メгатレンド及び政策動向を理解している。
- 10. 所属大学の教務規定、学生受入に関する学内規定、事務手続きの流れ等を理解している。

③実務

- 1. 国際的な連携支援業務に関する実務(例:海外関係機関との共同研究に関する調整等)の高度に専門的な事項(例:実務全体の90%程度)を理解している。
- 2. 前記1.に関連する業務上の課題を発見し、その課題に対して多角的な視点で様々な解決策を提案することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。
- 3. 外部の機関(特に海外)との交渉、調整等の作業の進め方等を理解している。
- 4. 外部の関係者ごとに必要な情報を抽出・整理して資料作成や説明を行うことができ、会議や打合せを効率良く進めることができる。
- 5. 海外の研究助成制度について情報を集め、研究者に説明できる。
- 6. 担当省庁と連携の上、内外関係者と調整しながらプロジェクト(または研究拠点)のシステム整備を初級・中級URAに指示して、主導的に進めることができる。
- 7. 全体のスケジュールと進捗状況を把握して内外関係者と共有し、期日内に業務を終わらせられるよう、内外関係者の協力を得ることができる。
- 8. 研究者、あるいは研究コミュニティとトラブルがあった場合、初級・中級URAに指示して、主導的に対応することができる。

④語学

- 1. 国際業務に関しては、国際担当部署等の協力を得て、業務の推進に必要な英文内容を正しく迅速に理解でき、相手先に伝えるべき情報等を迅速に作成することができる。
- 2. 海外の担当者、研究者等と直接交渉ができる。

⑤対人

- 1. 関係者(例:学内関係者, FA, 企業, 海外機関, 関係省庁等)から円滑に情報収集ができる。
- 2. 関係者の説明(例:規則, 実施計画等)を理解することができる。
- 3. 執行部を含む関係者の信頼を得て, 連携し, 協働できる。
- 4. 相手先(海外を含む)機関の文化や慣習等を理解し, 対応することができる。
- 5. 関係者との間で円滑なコミュニケーションをとることができる。
- 6. 海外との会合等において, 円滑な進行ができる。

⑥その他

- 複数の業務に適切な優先順位をつけ, 限られた時間を有効に活用し業務を遂行できる。